

今週（4月28日から5月2日）の短期金融市場動向

●無担保コール市場

今週の無担保コールO/N物は、前週に引き続き調達ニーズの強い展開となった。4月30日(水)から5月1日(木)に日銀・金融政策決定会合が開催されたが、金融市場調節方針については現状維持が決定された事から、レート水準についても大きな変化は無く、週を通して0.477%近辺で落ち着いて推移した。
ターム物に関しては、ショートタームでの出合いが散見された。

日銀当座預金残高は、28日(月)に国債買入オペや財政資金の支払いにより543兆円前半まで増加して始まった。しかし、週後半には税揚げや保険料揚げにより大幅に減少する展開となったことから、2日(金)は537兆円程度での着地見込みとなった。

なお、4月30日・5月1日に開催された日銀・金融政策決定会合では、金融市場調節方針の現状維持が決定された。

●レボ市場

今週のGC T/N物の出合い水準は、0.25~0.48%近辺で推移した。
SCは、カレント銘柄近辺や、チーペスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、1Yゾーンが堅調に推移した。
2日(金)に実施された3M物入札は、テールが流れる結果となったが、結果発表後のセカンダリーマーケットでは、底堅く推移した。

●CP市場

今週のCP発行市場は大型連休の中日となり、全体的に閑散としたマーケットとなるなか、石油等の一部業態から大型発行も散見された。
市場発行残高は、30日(水)の月末にやや減少する場面も見られたが、週を通して23兆円台での推移となった。
発行レートは、引き続き0.5%以上で推移し、銘柄により投資家の運用目線にばらつきが見られた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均株価 (円)	新発10年国債 利回り (%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート (T+1 ON・%)	日銀当座預金残高 (億円)
4/28 (月)	35,839.99	1.310	143.38	0.476	0.446	5,433,200
4/29 (火)						
4/30 (水)	36,045.38	1.310	142.52	0.476	0.408	5,431,800
5/1 (木)	36,452.30	1.270	142.96	0.477	0.467	5,403,100
5/2 (金)	36,830.69	1.260	145.89	0.477	0.485	5,371,200

来週（5月5日から5月9日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
5/5 (月)	こどもの日				4月のISM非製造業景況指数 London祝日(Early May bank holiday)
5/6 (火)	振替休日				米FOMC(1日目) 3月の米貿易収支
5/7 (水)	5月の日銀当座預金増減要因見込み(日銀 8:50)				米FOMC(2日目) 3月の米消費者信用残高
5/8 (木)	金融政策決定会合議事要旨(3月18・19日分 8:50)	TB6M 5/12発行 35,000億円	10Y 5/9発行 26,000億円	I補特 ^レ -借入 5/20借入 8,758億円	英中銀MPC 3月の米卸売売上高
5/9 (金)	4月のマネタリーベースと日本銀行の取引(日銀 8:50) 3月の毎月勤労統計調査速報(厚生労働省 8:30) 3月の全世帯家計調査(総務省 8:30) 3月の景気動向指数速報(内閣府 14:00)	TB3M 5/12発行 45,000億円			

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
5/5 (月)									
5/6 (火)									
5/7 (水)	1,300	▲ 2,200	▲ 900	国債補完	2,100		2,100	1,200	TB3M発行▲45,000償還45,000 流動性供給▲5,000 交付税借入▲11,000償還13,000
5/8 (木)	2,500	▲ 2,000	500				0	500	
5/9 (金)	2,000	▲ 26,000	▲ 24,000				0	▲ 24,000	10Y発行▲26,000
週間合計	5,800	▲ 30,200	▲ 24,400	—	2,100	0	2,100	▲ 22,300	

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き資金調達ニーズの強い展開が見込まれる事から、0.477%近辺での出会いが予想される。債券レポGC T/N物は、0.40~0.50%程度のレンジで推移することが予想される。短国市場は、8日(木)に6M物、9日(金)に3M物の入札実施が予定されている。CP市場は、大型連休明けで発行案件がどの程度膨らむか注目される。

主要なイベントは、国内では8日(木)に金融政策決定会合議事要旨(3月18・19日分)、9日(金)に3月の毎月勤労統計調査速報、海外では5日(月)に4月のISM非製造業景況指数、6日(火)に3月の米貿易収支、6日(火)~7日(水)に米FOMC、8日(木)に英中銀MPCなどが予定されている。

- ◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等を負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。